

障害者アートマネージメントセミナー

初級編

2014.12/12(金) 10:00~16:30

埼玉会館 3階 3C会議室

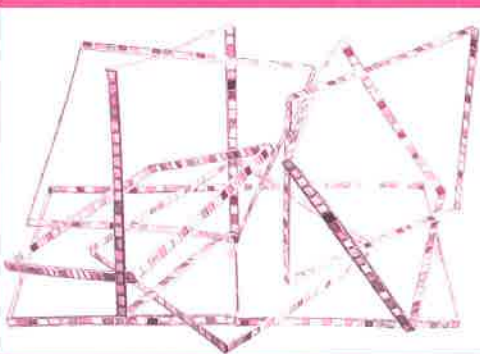
参加費無料

定員80名(事前申込・参加者多数の場合抽選)



福祉施設がアートに取り組む意義とは・・・

福祉施設でのアートの取組が、利用者の生活の向上、地域とのつながり、作品の商品化、職員の意識への影響など、様々な変化をもたらしています。なぜ、福祉施設でアートに取り組むのか?障害者アートや施設商品のマネージメントに必要な視点は何か。その意義や方法について学びます。



主催:埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会

問い合わせ:埼玉県福祉部障害者福祉推進課

電話:048(830)3312

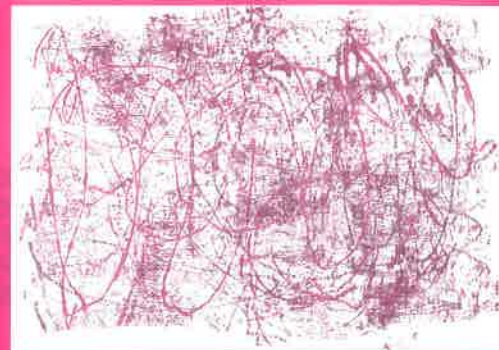
企画協力:特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン

協賛:一般社団法人埼玉県経営者協会、一般社団法人生命保険協会埼玉県協会

株式会社埼玉りそな銀行、株式会社武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫

株式会社ぶぎん地域経済研究所

後援:さいたま市 JR東日本大宮支社



- 9:30~10:00 受付
- 10:00~10:10 開会 オリエンテーション など
- 10:10~11:00 講演1「幻聴妄想カルタがひらく世界~精神障害者就労支援施設ハーモニーの活動から」
新澤 克憲 氏(NPO法人やっこハーモニー施設長/東京)

精神障害者就労支援施設ハーモニーでは、自身の妄想や幻聴などをもとにしたカルタの製作・販売をしています。切実な問題も口に出さずことで少しずつユーモアになり、カルタを通して初対面の人と会話したり、自分や他者のことを理解できるようになってきました。心の病気がある人と健康な人とのあいまいな境界を往復する、ハーモニー式の表現活動を通して考えます。

- 11:00~11:50 講演2「special mix~5つの障害者施設による表現活動とブランド化」
本多 佳美 氏(合同会社あおぞら 営業/新潟)

市場に通用する商品づくりを通して「楽しくてワクワクする持続可能な社会」を実現したい。新潟にある5つの障害者施設が、障害のある人の表現を活かした商品・ブランドづくりに取り組み、流通の窓口となる合同会社を設立しました。外部のブランドマネージャーやデザイナーとの連携、設立までの苦勞、組織を維持するための仕組みづくりを考えます。

- 11:50~12:00 質疑・応答(講演1・講演2に対して)
- 12:00~13:00 休憩 ※障害者アート企画展が埼玉会館第3展示室で、開催されます。ぜひ御覧ください。
- 13:00~15:00 【埼玉と全国の事例から掘り下げるアートマネージメントの視点】
- 13:00~14:00 テーマ1 障害のある人の生としてのアート

- 清水 征也 氏(社会福祉法人戸田わかさ会 生活支援員)
- 田中 理絵 氏(社会福祉法人皆の郷川越いもの子作業所Studio IMO 職員)
- コメンテーター 新澤 克憲 氏(NPO法人やっこハーモニー施設長)
- 宮本 恵美 氏(埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員)

今、向き合う障害のある人の命や生の軌跡としてのアート。障害のある人、支援者たちはどう変化したのでしょうか。それが社会にどのような波及を生んだのでしょうか。

- 14:00~15:00 テーマ2 障害のある人の社会参加・所得の向上に働きかけるアート×デザイン
- コメンテーター 豊田 亜紀 氏(多機能型事業所わっくす スタッフ)
- 石塚伊津美 氏(NPO法人CILひこうせん アートスタッフ)
- 本多 佳美 氏(合同会社あおぞら 営業)

障害のある人や支援者の環境がかわる一方で、地域社会、市民社会に働きかけを行うことは重要です。障害のある人たちの人権の尊重、地域生活での理解、アートの受容、製品の市場はどのようにすれば広がるのでしょうか。

- 15:00~15:20 休憩
- 15:20~16:20 全体ディスカッション
- 16:20~16:30 主催者あいさつ・閉会
- 16:30~17:30 交流会
- ・参加費 500円 茶菓程度
- ・参加者、講師の情報交換
- ・主催:エイブル・アート・ジャパン



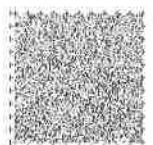
埼玉会館 3階3C会議室
JR高崎線・宇都宮線・京浜東北線浦和駅西口徒歩6分
さいたま市浦和区高砂3-1-4
電話:048-829-2471 FAX:048-829-2477

申込方法

- 締切日:平成26年11月21日(金)(必着)
- 申込:次の事項を記載の上、下記「お申込み・お問い合わせ先」に「往復はがき」でお申込みください。おひとり様につき1通でお願いします。何通もいただいた場合はその分は無効とします。
- ①セミナー参加希望の旨、②氏名、③連絡先住所・郵便番号、④所属団体(施設・学校など)、⑤連絡先電話番号、⑥交流会参加(参加費500円 茶菓程度)の有無、⑦配慮が必要な方(手話、要約筆記、車椅子等)はその旨
- 対象:全日程参加可能で、障害者アートに関心のある福祉施設(団体)職員・学生・アーティストをはじめ、どなたでも参加できます。
- 定員:80名(事前申込・応募者多数の場合は抽選) 参加費:無料
- お申込み・お問い合わせ先
埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会事務局
(埼玉県福祉部障害者福祉推進課内)
- 住所:〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1
- 電話:048-830-3312 FAX:048-830-4789
- ※ 昨年度、メール申込者による連絡無しの欠席が多数生じたため、申込方法を変更しました。人気セミナーのため、御了解願います。



表面の写真 左上から:『ABC-トート・ABC-Tシャツ』/木谷章紀の作品を利用、『Hello!陽気な彼女達』作/高橋恵子、『ジェットコースター』作/伊藤裕、『仙台駅』作/水村英喜、『箱・A5アートノート・アートポーチ』/miyokoの作品を利用、『JR埼京線』作/藤井隆亨、『チーポップアクセスアリー』/多機能型事業所わっくすアートプロジェクトメンバー、『無題』作/野沢愛美



専用の読み上げ装置で情報を音声で聞くことができます。(音声コード)↑